

(改正後)

MC 検証ガイドライン 「検証票別紙2：心肺停止前、血糖測定・ブドウ糖投与・輸液（様式3）」の一部改正について

(現行)

検証票別紙2：心肺機能停止前、血糖測定・ブドウ糖投与・輸液

様式3

(消防本部)

傷病者 容態 初回 意識 JCS- GCS-E: V: M: 呼吸数 回/分 脈拍数 回/分 血圧 / mmHg 気道異常 有 無 気道開通 可 不可 換気異常 有 無 補助換気 可 不可 酸素投与 開始時刻 酸素投与量 L 投与方法 マスク 経鼻 リザーバー付マスク BVM SpO2モニター 装着時刻 SpO2 % 皮膚所見 蒼白 冷感 湿潤 紅潮 温感 乾燥 その他() その他 ショック徴候 備考

血糖測定及びブドウ糖溶液投与

血糖測定 適応外 気道・換気・循環異常による内因性L&G 脳卒中疑い JCS<10 推定15歳未満 その他未実施理由 同意得られず その他() 実施場所 現場 救急車内 穿刺回数 回 穿刺部位 測定時刻 血糖値 mg/dl 測定不可理由 十分な血液出ず 機器操作ミス 機器作動不良 その他()

指示要請 低血糖のため要請 低血糖であるが要請せず 指示要請医療機関

医師の指示時刻 内容 備考

静脈路確保 実施場所 現場 救急車内 穿刺回数 回 結果 成功 未実施 中止 抜去 穿刺部位 機側皮静脈(右・左) 尺側皮静脈(右・左) 肘正中皮静脈(右・左) その他()

留置針サイズ G 完了・中止時刻 抜去時刻 手技上の課題 無 有()

指示要請せず・未実施・中止・抜去理由 同意得られず 不穏状態 搬送を優先(予想搬送時間: 分) うっ血なし 逆血なし 穿刺部の漏れ、腫れ 滴下不良 その他()

ブドウ糖投与 実施 未実施 中止 実施場所 現場 救急車内 投与時刻 意識レベルの改善 無 有 未実施・中止理由 不穏状態 漏れ、腫れ 疼痛 その他() 実施・中止時総投与量 ml

備考

心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液

適応病態 増悪するショック クラッシュ症候群の疑い ショックの種類 循環血液量減少性 アナフィラキシー 敗血症性 神経原性 その他()

増悪するショックの判断根拠 出血の持続 意識障害の進行 アナフィラキシー 熱中症 その他()

静脈路確保の判断 救出に時間がかかる 病院選定ができていない 現場から病院までの予想走行時間が20分以上 その他()

指示要請 適応症例のため要請 適応症例であるが要請せず 指示要請医療機関

医師の指示時刻 内容 備考

静脈路確保 実施場所 現場 救急車内 穿刺回数 回 結果 成功 未実施 中止 抜去 穿刺部位 機側皮静脈(右・左) 尺側皮静脈(右・左) 肘正中皮静脈(右・左) その他()

留置針サイズ G 完了・中止時刻 抜去時刻 手技上の課題 無 有()

指示要請せず・未実施・中止・抜去理由 同意得られず 不穏状態 搬送を優先(病院選定後予想搬送時間: 分) 成功・抜去時総輸液量 ml うっ血なし 逆血なし 穿刺部の漏れ、腫れ 滴下不良 その他()

備考

病着時救急隊が記載する事項

病着時 意識 JCS GCS E: V: M: 呼吸数 回/分 脈拍数 回/分 血圧 / mmHg 血糖値 mg/dl

初診時医師所見

初診時医師署名:

来院時 換気 良好 不良 酸素化 良好 不良 静脈路 良好 滴下不良 穿刺部の漏れ、腫れ その他()

ショックの種類 循環血液量減少性 アナフィラキシー 敗血症性 神経原性 心原性 閉塞性 その他() ショックでない

初診時疑い病名

コメント

検証票別紙2：心肺機能停止前、血糖測定・ブドウ糖投与・輸液

様式3

(消防本部)

傷病者 容態 初回 意識 JCS- GCS-E: V: M: 呼吸数 回/分 脈拍数 回/分 血圧 / mmHg 気道異常 有 無 気道開通 可 不可 換気異常 有 無 補助換気 可 不可 酸素投与 開始時刻 酸素投与量 L 投与方法 マスク 経鼻 リザーバー付マスク BVM SpO2モニター 装着時刻 SpO2 % 皮膚所見 蒼白 冷感 湿潤 紅潮 温感 乾燥 その他() その他 ショック徴候 備考

血糖測定及びブドウ糖溶液投与

血糖測定 適応外 気道・換気・循環異常による内因性L&G 脳卒中疑い JCS<10 推定15歳未満 その他未実施理由 同意得られず その他() 実施場所 現場 救急車内 穿刺回数 回 穿刺部位 測定時刻 血糖値 mg/dl 測定不可理由 十分な血液出ず 機器操作ミス 機器作動不良 その他()

指示要請 低血糖のため要請 低血糖であるが要請せず 指示要請医療機関

医師の指示時刻 内容 備考

静脈路確保 実施場所 現場 救急車内 穿刺回数 回 結果 成功 未実施 中止 抜去 穿刺部位 機側皮静脈(右・左) 尺側皮静脈(右・左) 肘正中皮静脈(右・左) その他()

留置針サイズ G 完了・中止時刻 抜去時刻 手技上の課題 無 有()

指示要請せず・未実施・中止・抜去理由 同意得られず 不穏状態 搬送を優先(予想搬送時間: 分) うっ血なし 逆血なし 穿刺部の漏れ、腫れ 滴下不良 その他()

ブドウ糖投与 実施 未実施 中止 実施場所 現場 救急車内 投与時刻 意識レベルの改善 無 有 未実施・中止理由 不穏状態 漏れ、腫れ 疼痛 その他() 実施・中止時総投与量 ml

備考

心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液

適応病態 増悪するショック クラッシュ症候群の疑い ショックの種類 循環血液量減少性 アナフィラキシー 敗血症性 神経原性 その他()

増悪するショックの判断根拠 出血の持続 意識障害の進行 アナフィラキシー 熱中症 その他()

静脈路確保の判断 救出に時間がかかる 病院選定ができていない 現場から病院までの予想走行時間が20分以上 その他()

指示要請 適応症例のため要請 適応症例であるが要請せず 指示要請医療機関

医師の指示時刻 内容 備考

静脈路確保 実施場所 現場 救急車内 穿刺回数 回 結果 成功 未実施 中止 抜去 穿刺部位 機側皮静脈(右・左) 尺側皮静脈(右・左) 肘正中皮静脈(右・左) その他()

留置針サイズ G 完了・中止時刻 抜去時刻 手技上の課題 無 有()

指示要請せず・未実施・中止・抜去理由 同意得られず 不穏状態 搬送を優先(病院選定後予想搬送時間: 分) 成功・抜去時総輸液量 ml うっ血なし 逆血なし 穿刺部の漏れ、腫れ 滴下不良 その他()

備考

病着時救急隊が記載する事項

病着時 意識 JCS GCS E: V: M: 呼吸数 回/分 脈拍数 回/分 血圧 / mmHg 血糖値 mg/dl

初診時医師所見

初診時医師署名:

来院時 換気 良好 不良 酸素化 良好 不良 静脈路 良好 滴下不良 穿刺部の漏れ、腫れ その他()

ショックの種類 循環血液量減少性 アナフィラキシー 敗血症性 神経原性 心原性 閉塞性 その他() ショックでない

初診時疑い病名

コメント

修正